

(様式第1号)

奈良県地域貢献サポート基金 団体登録申請書

2025年 12 月 9 日

奈良県知事殿

応募団体の資格を有する団体であることを宣誓し、以下の添付書類とともに提出します。

団体名 特定非営利活動法人市民ひろばなら小草

代表者職氏名 田村隆幸

団体名	特定非営利活動法人市民ひろばなら小草		
主たる事務所の所在地	〒631-0802 奈良市歌姫町1194番地		
代表者職氏名	理事長 田村隆幸		
活動の開始年月 ※法人にあっては設立 登記年月日	2017年12月22日	会員総数	172人
活動の分野 (主なもの3つ程度まで に○をつけて下さい)	1. 保健・医療 2. 福祉 3. 社会教育 4. まちづくり 5. 観光の振興 6. 農山漁村の振興 7. 中山間地域の振興 8. 学術 9. 文化・芸術 10. スポーツ 11. 環境の保全 12. 動物愛護 13. 災害救援 14. 地域安全活動 15. 人権・平和 16. 国際協力・交流 17. 男女共同参画 (18) 子どもの健全育成 (19) 子育て支援 20. 情報化社会の発展 21. 科学技術 22. 経済活動の活性化 23. 職業能力・雇用機会 24. 消費者の保護 25. 団体の連携・支援 26. その他 ( )		
主な活動地域 (市町村)	奈良市・大和郡山市		
これまでの 主な活動実績	2010年～ 外国から渡日親子の居場所・学び場作り 2015年～ 子どもの貧困対策としての無料学習塾 (県内3か所) 2020年～ 不登校など生きづらさを抱えた子どもの居場所支援		
寄附者へのPR (寄附を活用して取り組 みたい活動内容)	学校の教員が学校に勤めながら学校だけでは取り組みにくい「子どもの貧困」や「生きづらさを抱えた子ども」の課題に「無料の学習塾」や「フリースクール」で取り組みました。皆さんからの寄付の力で、一層充実させていきたいです。		
ホームページ	(有) (URL <a href="https://www.naraogusa.org/">https://www.naraogusa.org/</a> ) / 無		

[添付書類]

- ・団体の定款、規約、会則等(※)
- ・団体役員名簿(※)
- ・直近1年間の事業報告書(※)
- ・直近1年間の収支計算書(※)

(※) 特定非営利活動法人の場合については、提出不要です。

# 主な事業 活動紹介②

## ▶ 小草学園

学校や社会で生きづらさを感じている小中学生・高校生・成人にとって、年齢や学校によって切れてしまいがちな「つながり」や「サポート」を連続し、社会的自立を目指す総合共育施設、それが小草学園です。



### ○学びのフリースペース小草 (小中学生)

いろんな事情で学校に行かない・行けない義務教育課程の小中学生が、あんしんできる居場所として、自分らしく学習できる無料のフリースクールが「学びのフリースペース小草」です。学校以外に居場所や学びの場があることで、徐々に自信を回復し、次のステップに進んでいきます。(月)火(木)金の10~16時ごろまで開催しています。



### ○さくら国際高校 奈良キャンパス 優月アカデミー (高校生)

さくら国際高校は広域通信制高校で、県内唯一の「奈良キャンパス」では入学式等の学校行事や総合学習、教科の学習など卒業まですべての高校の教育課程を行います。少人数でサポートも厚く、自分のペースで来られます。これまで学校に行けなかった人が今は小草学園が楽しいと感じ、学んでいます。また違う通信制高校に在籍する生徒も「優月アカデミー」の生徒として学べます。



### ○歌姫庵 (成人)

高校を卒業した人が、社会とつながり、仲間とつながって、社会や仕事について学びます。A型就労でもB型就労でもない、これまでになかった取組を創造・展開して将来の社会的自立を目指します。地域社会の企業・団体とのつながり・広がりを含め、みんなの力が集まって「生きやすい社会」の実現に貢献します。



## ▶ 大人の学び講座

大人になった今だからこそ、過去に忘れてきてしまったことや、次の世代に語り継いでいかなければならないこと、一緒に学び直していく講座です。

和歌山木本事件の報告に引き続き、6月には海南島での植民地政策について、斉藤日出治先生からの報告を受けました。ちょうど昨年「福田村事件」が映画化されていたこともあり、多数の人が関心をもって映像をみてお話を伺いました。

2月には貧困や福祉や司法制度について考えてみました。極寒の網走で親から捨てられた経験を持ち、無学とあきらめの末に19歳の時起こした事件で死刑囚となった永山則夫。彼の遺品を実際に見ながら、市原みちえさんと一緒に考えてみました。

3月には恒例となった「アジア各地に残留された人々の労苦を語り継ぐ」講座を開催しました。東京から首都圏中国残留支援交流センターから語り部お二人をお招きし、貴重なお話を聞かせていただきました。



## 活動を続けるため継続的なご支援を！

(右のQRコードから)

★ 毎月少額からクレジット寄付で支えるマンスリーサポーター。

★ 年会費で応援する賛助会員。 **になって支えてください。**

※ 一般寄付もできます



(元学習スタッフ安部哲多さん)